

# 記入例1 令和5年分給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

この申告書は、研究奨励金の税金の申告に使用しますので、配偶者や扶養家族がない方も、**全員必ず**提出する必要があります。(令和6年1月1日採用者除く)

既に、令和5年中に大学等に申告書を提出している場合でも、令和5年4月からの分として本会への提出の必要があります。(このことは、すでに申告書を提出した大学等にも必ずお伝えください。)

※書き方の詳細について不明な点がある場合には、必ず最寄りの税務署に確認してください。

【国税庁ウェブサイト・税についての相談窓口】  
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shirabekata/9200.htm>

以下の①から④は**全員必ず**記入してください。

- ①「あなたの氏名」…申請書記載の戸籍名を記入
- ②「世帯主」…自身の場合は、世帯主欄に戸籍名、続柄欄に「本人」と記入。世帯主が他者の場合には、その氏名とあなたとの続柄を記入してください。
- ③「あなたの住所」…**令和5年4月1日時点**の住民登録住所を記入してください。
- ④配偶者の有無…有無を必ず記入してください。

※個人番号(マイナンバー)の提供については別途依頼しますので、本申告書のいずれの項目についても一切記入する必要はありません。

**全員必ず記入**

採用年度: 令和 5 資格: PD  
 年度受付番号: 202309999 令和5年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等 <b>麹町</b>	給与の支払者の名称(氏名) 独立行政法人 日本学術振興会	(フリガナ) ガクシン タロウ	あなたの生年月日 平 3 年 10 月 8 日	扶養控除等申告書の提出 ※提出している場合は、この欄を空欄にしてください。
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号 1 0 1 0 1 0 0 0 5 1 0 0 6 1 8 9 1 0	あなたの個人番号 記載不要記載不要記載不要	あなたの続柄 本人	
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所) 東京都千代田区麹町5-3-1	あなたの住所又は居所 東京都〇〇区〇〇1-2-3	配偶者の有無 有	



**押印は不要です**

- **以下、該当者のみ記入**  
(この記入例1のP.2を参照して記入してください)
- 控除対象となる配偶者(夫または妻)がいる。 **A**
- 控除対象となる年齢16歳以上の親族がいる。 **B**
- 本人が勤労学生、寡婦(寡夫)である場合  
• 本人、配偶者、扶養親族のいずれかに障がい者の方がいる場合 **C**

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号	生年月日	令和5年中の所得の見積額	非居住者である親族 生計を一にする事実	住所又は居所	異動月日及び事由
源泉控除対象配偶者(注1)	ガクシン ハナコ 学振 花子	記載不要	平 3 年 11 月 6 日	32万円	<input type="checkbox"/> 16歳以上30歳未満又は70歳以上 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 35万円以上の支払	同居	
主たる給与から控除を受ける 控除対象親族(16歳以上)(平20.1.1以降生)	1	記載不要	記載不要	記載不要	<input type="checkbox"/> 同居者等 <input type="checkbox"/> その他		
	2	記載不要	記載不要	記載不要	<input type="checkbox"/> 同居者等 <input type="checkbox"/> その他		
	3	記載不要	記載不要	記載不要	<input type="checkbox"/> 同居者等 <input type="checkbox"/> その他		

こちらに記入した16歳未満の扶養親族を他の方(夫婦、兄弟等)の扶養親族とすることはできません。たとえば、母親の扶養親族とした場合は、父親の扶養親族からは外してください。

- **以下、該当者のみ記入**
- 年齢16歳未満の扶養親族がいる **住民税に関する事項**

他の所得者が控除を受ける扶養親族等	氏名	あなたの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者 氏名	あなたの続柄	住所又は居所	異動月日及び事由
16歳未満の扶養親族(平20.1.2以降生)	1	記載不要	記載不要	記載不要				
2	記載不要	記載不要	記載不要	記載不要				

令和5年中の所得の見積額が0円の場合についても空欄ではなく**必ず**記入してください。

**この申告書の提出後は、原本を大切に手元に保管してください。**

# 該当者のみ確認

「控除」: 税金の課税対象となる所得金額を控除分少なくすること

「所得」: 給与等の収入金額から所得税法で定めた給与所得控除額を差し引いた金額のこと

必ず、源泉控除対象配偶者の合計所得の見積額が**95万円以下**であることを確認してください。

例1) 配偶者の令和5年中の給与収入の見積額が100万円の場合  
 $100万 - 55万 = 45万円$

→所得の見積額45万円を記入

例2) 配偶者の令和5年中の給与収入の見積額が54万円の場合

$54万 - 55万 = \text{マイナス}$   
 ※マイナスになった場合には、**0**と記入(空欄ではなく、必ず**0**と記入してください)

必ず、控除対象扶養親族の合計所得の見積額が**48万円以下**であることを確認してください。

※公的年金等の場合には、計算方法が異なりますので不明な点は最寄りの税務署へ確認してください。

Cに該当する場合、必ずこの欄を記入してください。記載方法で不明な点は、最寄りの税務署で確認してください。

## A 源泉控除対象配偶者

所得者と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除く)で、**合計所得金額が95万円以下**の控除対象配偶者がいる場合、この欄に記入してください。  
 収入そのままの金額ではなく、**所得控除額55万を引いた所得の見積額**を必ず記入してください。

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号		令和5年中の所得の見積額	非居住者である親族 生計を一にする事実	住所又は居所	異動月日及び事由 (令和5年中に異動があった場合に記載してください。以下同じです。)
		あなたの続柄	生年月日				
源泉控除対象配偶者(注1)		記載不要	記載不要	記載不要			

非居住者である親族について扶養控除等の適用を受ける場合は、親族関係書類等を添付してください。  
 【参考: 国税庁ウェブサイト】<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/gaikokugo/02.htm>

## B 控除対象扶養親族

区分	氏名	あなたの続柄	生年月日	所得の見積額	非居住者である親族 生計を一にする事実	住所又は居所	異動月日及び事由 (令和5年中に異動があった場合に記載してください。以下同じです。)
1		記載不要	記載不要	記載不要			
2		記載不要	記載不要	記載不要			
3		記載不要	記載不要	記載不要			
4		記載不要	記載不要	記載不要			

こちらに記入した控除対象扶養親族を他の方(夫婦、親子、兄弟等)の扶養親族とすることはできません。

## C 障害者、寡婦、寡夫、又は勤労学生

障がい者、寡婦、寡夫、又は勤労学生に該当するかどうかを確認する場合には最寄りの税務署に確認してください。  
**※勤労学生はDC採用内定者で研究遂行経費希望、かつ採用年の1~12月の特別研究員以外の収入合計金額が4万円以下の方が該当します。**

区分	氏名	あなたの続柄	生年月日	所得の見積額	非居住者である親族 生計を一にする事実	住所又は居所	異動月日及び事由 (令和5年中に異動があった場合に記載してください。以下同じです。)
障害者、寡婦、ひとり親又は勤労学生							

- Q1 申告書の「世帯主」欄は誰を記載すればよいですか?  
 A →住民票に記載されている世帯主の氏名を記入してください。
- Q2 海外渡航のため、日本国内に住居登録がないのですが、どの住所を記載したらよいですか?  
 A →海外渡航直前に住民登録のあった国内の住所を記入してください。
- Q3 特別研究員採用前の収入が少ないのですが、勤労学生に該当しますか?  
 A →**所得の見積額が75万円以下の方が該当**します。研究遂行経費(研究奨励金の30%)は課税対象外ですので、計算式は下記のとおりです。  
 給与収入[DC研究奨励金月額20万円×9ヶ月(4月~12月)-研究遂行経費6万円×9ヶ月]-控除額55万円=特別研究員としての所得の見込額71万円  
 よって、勤労学生はDC採用内定者で研究遂行経費希望、かつ採用年の1月~12月に特別研究員以外の収入合計金額4万円以下の方が該当します。

よくある質問